

トヨタ自動車の出身者らが、電気自動車(EV)を企画・販売する新会社を立ち上げた。既存のEVを業務用車両に改造して販売するほか、ガソリン車をEVに転換するためのキットも取り扱う予定だ。顧客の要望に応じたオーダーメイド型の車両を開発・提供することで、EVの需要を掘り起こし、普及に役立てたいとしている。

名古屋市内で新会社のタウンEVをこのほど設立した。現在の資本金は2090万円。トヨタ自動車マ

EV、業務用に改造・販売

トヨタOBら普及へ新会社

「ケイティングや人事管理などに従事し、現在はベンチャーキャピタルの東海夢ファンド(名古屋市)で社長を務めている杉本祥郎氏が設立した。トヨタ自動車や

の送迎車両や、外食の配送車両などEVの特長を生かす業務分野では、潜在需要が見込めるとい

改造なら、注文数が多ければ生産の委託は可能だ」と話す。ベース車両は日産自動車の「リーフ」、トヨタ車体の1人乗り車「コムス」といったEVを想定してい

ガソリン車用 需要掘り起こし

ガソリン車をEVに改造

日産自動車の元技術者が社員や技術顧問として新会社に所属している。

両を設計する。大手メーカーのEVをもとに専用部を

加える。

実際の生産については、

制御システムを組み合わせたキットも年内に発売する予定だ。

EVは航続距離が短い反面、排ガスを出さず騒音も小さいといった利点がある。このため、住宅街に入り込むことが多い福祉施設

自動車メーカー系列で特別車両の製造を手がける企業などに委託する。杉本社長は「型式を変えない範囲の

中部